

1. 件 名：リサイクル燃料貯蔵株式会社の原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日 時：令和5年12月18日 13:00～14:45

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁

緊急事案対策室

嶋崎防災専門官、武長専門職、蔦澤専門職

監視情報課

竹田専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

リサイクル燃料貯蔵株式会社

防災安全グループマネージャー、他1名

5. 要 旨

リサイクル燃料貯蔵株式会社から、原子力事業者防災業務計画（以下「防災業務計画」という。）について、資料1に基づき予備緊急時対策所の設置及び記載の適正化に係る修正手続きを行う予定であるとの説明があった。

また、今後の事業開始に当たり、防災業務計画に関する各種手続きや運用等について意見交換が行われた。

それに対して、原子力規制庁から、以下のとおり伝えた。

- ・ 防災業務計画の修正については、予備緊急時対策所の防災業務計画上の位置づけを確認した上で、修正内容を再度検討すること。また防災資機材の保管場所の記載やその他誤記等について適切に対処すること
- ・ 防災業務計画に関する各種手続きや運用等については、先行する事業者の状況をよく確認し、事業開始の時点で確実に防災業務計画の運用が開始できるよう、当該計画の内容毎に施行日を段階的に定めること等を含め検討を進めること

リサイクル燃料貯蔵株式会社から、今回の指摘を踏まえて対応するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 リサイクル燃料備蓄センター原子力事業者防災業務計画 新旧  
比較表（リサイクル燃料貯蔵株式会社）